



平成29年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 第一カッター興業株式会社
 コード番号 1716 URL <http://www.daiichi-cutter.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 広瀬 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 小池 保

TEL 0467-85-3939

四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	9,474	5.4	1,209	23.9	1,265	22.1	853	15.9
28年6月期第3四半期	10,012	8.2	1,588	18.0	1,625	17.1	1,014	24.3

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 870百万円 (19.3%) 28年6月期第3四半期 1,078百万円 (29.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	149.98	
28年6月期第3四半期	178.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第3四半期	10,313	8,197	76.8	1,391.04
28年6月期	9,737	7,396	73.2	1,252.98

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 7,917百万円 28年6月期 7,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期		0.00		12.00	12.00
29年6月期		0.00			
29年6月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,843	7.9	1,326	23.5	1,364	23.4	822	26.2	144.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有な会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年6月期3Q	6,000,000 株	28年6月期	6,000,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

29年6月期3Q	308,260 株	28年6月期	308,260 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期3Q	5,691,740 株	28年6月期3Q	5,691,740 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀の経済対策・金融政策により雇用・所得の改善が続 き、個人消費も堅調に伸びたことから緩やかな回復基調で推移したものの、中国を始めとする新興国経済の減速や円 高の進行など景気の先行きは不透明な状況が続いております。

建設業界におきましても、民間建設投資では住宅投資や設備投資が堅調に推移し、公共建設投資も徐々に持ち直し つつあるなど良好な事業環境が整いつつある反面、人件費・建設資材をはじめとする建設コストの上昇といった要因 が重なることで企業間の受注・価格競争が激化するなど、依然として予断を許さない厳しい状況にあります。

このような状況下で当社グループは、切断・穿孔工事事業、ビルメンテナンス事業、リユース・リサイクル事業の 全ての事業において積極的な営業活動を展開してまいりましたが、特に切断・穿孔工事事業に関して前年の同四半期 連結累計期間に比して首都圏における大型の工事案件が減少したため、当四半期連結累計期間の当社グループ全体の 売上高は9,474百万円（前年同期比5.4%減）となり、営業利益は1,209百万円（前年同期比23.9%減）、経常利益は 1,265百万円（前年同期比22.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は853百万円（前年同期比15.9%減）とな りました。

なお、当社グループの事業は公共事業関連工事が多いため、年間を通じて売上高は第2四半期（10月～12月）・第 3四半期（1月～3月）に集中する傾向にあり、それに比して第1四半期（7月～9月）・第4四半期（4月～6 月）の売上高は減少する傾向にあります。今後、このような業績の変動を平準化していく方針であります。当面、 業績が第2四半期、第3四半期に偏る傾向が続くものと思われま

す。セグメント別の状況は、次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の売上高を含んでおります。

(切断・穿孔工事事業)

高速道路補修関連工事及び工場関連工事の営業強化に努めてまいりましたが、前年の同四半期連結累計期間に比 して首都圏における大型の工事案件が減少いたしました。その結果、完成工事高は8,302百万円（前年同期比7.5% 減）となりました。また完成工事高の減少に加えて、施工体制の強化に向けた人員・設備投資に伴う人件費、減価 償却費等固定費の増加により、セグメント利益は1,611百万円（前年同期比18.0%減）となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業につきましては、首都圏を中心にデベロッパー系管理会社への市場拡大や高層マンション 等新規案件の開拓、更にサービスの向上に努めてまいりました。その結果、完成工事高は209百万円（前年同期比 9.8%増）となりました。また人員投資、施工体制強化によって稼動が向上し、その結果外注コストも抑制された事 から、セグメント利益は5百万円（前年同期1,113.5%増）となりました。

(リユース・リサイクル事業)

リユース・リサイクル事業につきましては、引き続き新規の顧客開拓に努めてまいりました。その結果、商品売 上高は966百万円（前年同期比13.9%増）となりました。また売上は増加したものの、仕入原価の高騰や、売上拡大 に伴う組織体制の強化を図った事により一定のコストが発生した事等により、セグメント損失は2百万円（前年同期 は42百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形・完成工事未収入金、建物及び構築物が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ576百万円増加し、10,313百万円となりました。

負債につきましては、未払法人税等が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ224百万円減少し、2,116百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ800百万円増加し、8,197百万円となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は76.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の通期の業績予想につきましては、平成28年8月12日に発表いたしました「平成28年6月期決算短信」の業績予想から変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,628,931	3,688,162
受取手形・完成工事未収入金	2,017,834	2,250,962
売掛金	83,854	140,553
未成工事支出金	198,797	187,764
商品	73,687	43,295
材料貯蔵品	85,421	98,005
繰延税金資産	70,029	70,029
その他	111,015	106,554
貸倒引当金	△10,273	△10,813
流動資産合計	6,259,298	6,574,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	819,976	1,049,695
減価償却累計額	△296,261	△293,945
建物及び構築物(純額)	523,714	755,750
機械装置及び運搬具	2,514,231	2,705,352
減価償却累計額	△1,914,048	△2,084,195
機械装置及び運搬具(純額)	600,182	621,156
工具、器具及び備品	74,098	83,265
減価償却累計額	△59,238	△63,744
工具、器具及び備品(純額)	14,860	19,521
土地	1,649,174	1,606,019
リース資産	15,298	15,298
減価償却累計額	△4,895	△7,190
リース資産(純額)	10,402	8,108
建設仮勘定	1,100	6,521
有形固定資産合計	2,799,434	3,017,077
無形固定資産		
のれん	55,275	41,456
その他	24,524	26,513
無形固定資産合計	79,800	67,970
投資その他の資産		
投資有価証券	201,277	219,823
繰延税金資産	153,466	153,466
その他	248,155	288,040
貸倒引当金	△4,068	△7,331
投資その他の資産合計	598,831	653,998
固定資産合計	3,478,066	3,739,045
資産合計	9,737,364	10,313,560

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	441,367	493,208
買掛金	120,901	120,309
1年内返済予定の長期借入金	34,240	39,408
リース債務	2,433	2,757
未払法人税等	385,554	147,164
賞与引当金	39,158	163,239
その他	675,793	526,207
流動負債合計	1,699,448	1,492,296
固定負債		
長期借入金	84,387	49,663
リース債務	7,498	5,387
役員退職慰労引当金	188,083	210,324
退職給付に係る負債	356,468	353,442
資産除去債務	4,841	4,895
固定負債合計	641,279	623,713
負債合計	2,340,727	2,116,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	470,300	470,300
資本剰余金	462,044	462,044
利益剰余金	6,335,188	7,119,982
自己株式	△122,205	△122,205
株主資本合計	7,145,326	7,930,121
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△13,690	△12,666
その他の包括利益累計額合計	△13,690	△12,666
非支配株主持分	265,000	280,095
純資産合計	7,396,636	8,197,549
負債純資産合計	9,737,364	10,313,560

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高		
完成工事高	9,163,740	8,511,854
商品売上高	848,351	962,843
売上高合計	10,012,091	9,474,697
売上原価		
完成工事原価	6,007,044	5,657,570
商品売上原価	582,929	754,619
売上原価合計	6,589,974	6,412,189
売上総利益		
完成工事総利益	3,156,695	2,854,283
商品売上総利益	265,421	208,223
売上総利益合計	3,422,117	3,062,507
販売費及び一般管理費		
営業利益	1,833,122	1,853,089
営業外収益		
受取利息	321	133
受取配当金	4	4
受取保険金	3,209	10,705
受取家賃	14,860	14,562
持分法による投資利益	15,109	22,385
雑収入	16,009	20,852
営業外収益合計	49,514	68,643
営業外費用		
支払利息	1,593	1,427
売上債権売却損	158	189
不動産賃貸原価	8,557	8,551
雑損失	3,041	2,504
営業外費用合計	13,351	12,672
経常利益	1,625,158	1,265,388
特別利益		
固定資産売却益	1,502	17,102
特別利益合計	1,502	17,102
特別損失		
固定資産売却損	136	153
固定資産除却損	489	3,008
特別損失合計	626	3,162
税金等調整前四半期純利益	1,626,035	1,279,329
法人税等	547,439	409,582
四半期純利益	1,078,595	869,746
非支配株主に帰属する四半期純利益	63,719	16,074
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,014,876	853,671

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	1,078,595	869,746
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	—	1,023
その他の包括利益合計	—	1,023
四半期包括利益	1,078,595	870,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,014,876	854,695
非支配株主に係る四半期包括利益	63,719	16,074

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項は有りません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項は有りません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。